

DMG森精機株式会社

2024年度第3四半期(1-9月) 決算説明資料

2024年11月1日

1.2024年度第3四半期(1-9月)決算概要

2.事業環境

3.MX推進：日本工作機械ショー（JIMTOF2024）

4.グローバルでグループ体制の強化

5. ESG/CSRの取組み

（オペレータの育成/ サプライヤーエンゲージメント）

2024年度 第3四半期 (1-9月)決算ハイライト

DMG MORI

- ✓ 連結受注額：1-9月 (第3四半期累計) 3,815億円、前年同期比 4.5%減
7-9月 (第3四半期) 1,148億円、前年同期比 7.2%減 引合いは高水準で推移。お客様の投資意思決定が長期化
- ✓ 補修部品・サービス・エンジニアリング受注額：1-9月 924億円、前年同期比7.4%増。連結受注に占める構成比 24% (前年度：22%)
- ✓ 受注平均単価：71.5百万円(2023年度：61.9百万円 / 15%増)、435千EUR (同：407千EUR / 7%増)。工程集約機 + 自動化が伸びる
- ✓ 2024年9月末機械受注残 2,490億円で横ばい (2023年12月末：2,470億円)。SAP S/4 HANA開始によるPfronten工場の生産混乱とドイツ政府輸出許可手続きの長期化により納期が遅延
- ✓ 1-9月売上：3,880億円(2.1%増)、営業利益：300億円(15.9%減)。サービス・設計人員採用増による先行投資
- ✓ 年度利益計画下方修正：
営業利益 440億円 (前年度比 20.5%減、従来計画585億円)
当期利益 100億円 (前年度比 70.5%減、従来計画360億円) ロシア工場接收に係る保険請求中 (EUR 90.4 mil. / 145億円)。今期回収は見込まず
- ✓ 1株当たり年間配当金 100円/株 (中間 50円、期末 50円) を維持
- ✓ 太陽工機 (現50.8%株式保有) を100%グループ化：海外、工程集約、自動化の売上拡大、2026年第4四半期に長岡新工場完成予定

2024年度 第3四半期 (1-9月)決算概要

DMG MORI

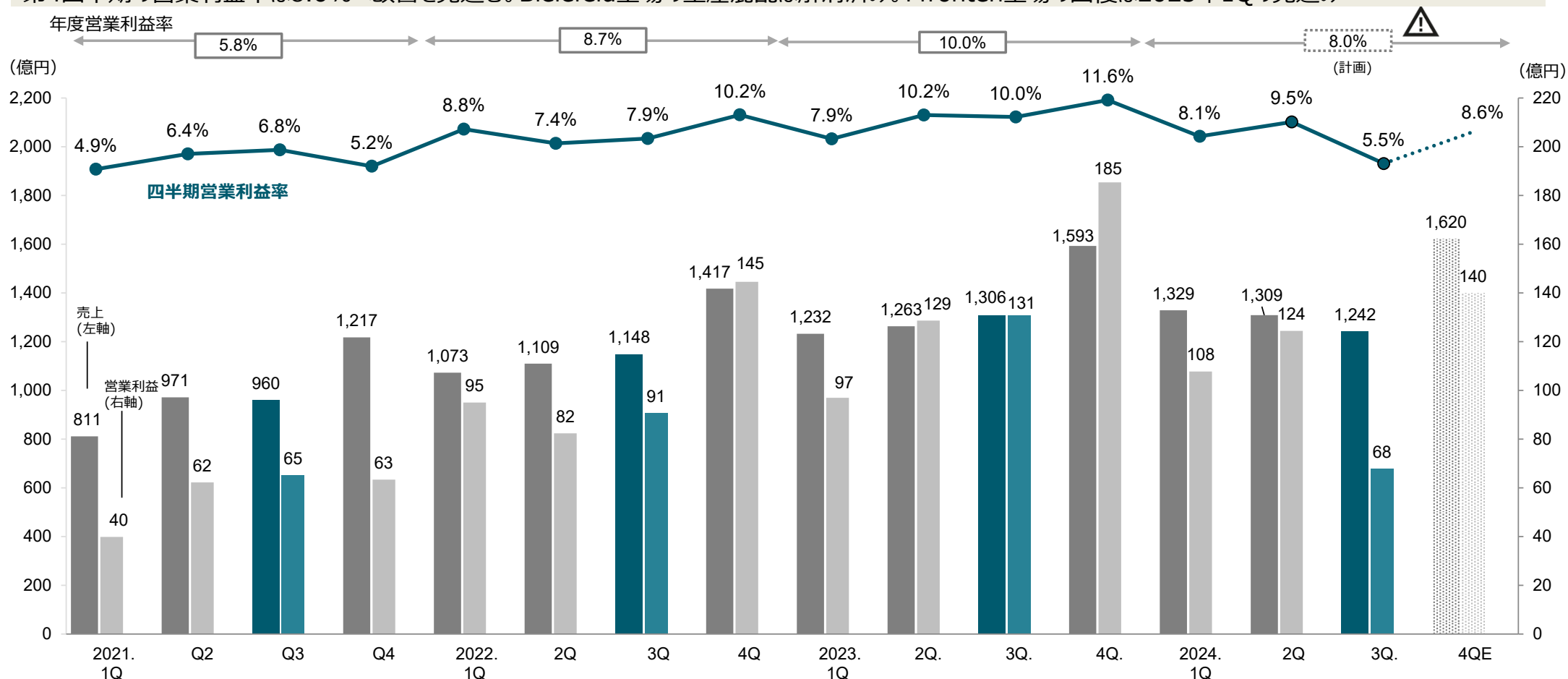
(億円)	2022年 1-9月	2023年 1-9月	2024年 1-9月	増減 (%)
連結受注	4,320	3,995	3,815	-4.5%
連結受注残	2,740	2,800	2,490	
売上収益	3,330	3,802	3,880	2.1%
営業利益	268	357	300	-15.9%
営業利益率	8.0%	9.4%	7.7%	
継続事業からの当期利益	166	230	159	-31.0%
ロシア製造会社 連結除外損失 (一過性)	—	-0	-151 *	
当期利益 (親会社所有者帰属)	166	230	6	-97.4%
償却費(リース含む)	174	191	230	
設備投資額	293	305	250	
USD/JPY	128.1	138.1	151.3	
EUR/JPY	136.0	149.6	164.4	

*第1四半期 (1-3月) に、ロシア製造子会社Ulyanovsk Machine Tools ooo (UMT) の連結除外損失91.8百万EURを計上

四半期業績推移

DMG MORI

- ・第3四半期(7-9月)の営業利益率は5.5%。SAP S/4 HANA ドイツBielefeld 工場(2023年3Q)、Pfronten工場(2024年1Q)開始による生産混乱
- ・第4四半期の営業利益率は8.6%へ改善を見込む。Bielefeld工場の生産混乱は解消済み。Pfronten工場の回復は2025年1Qの見込み



*2023年以前の数値にはUMTの連結除外にかかる影響を考慮していません。

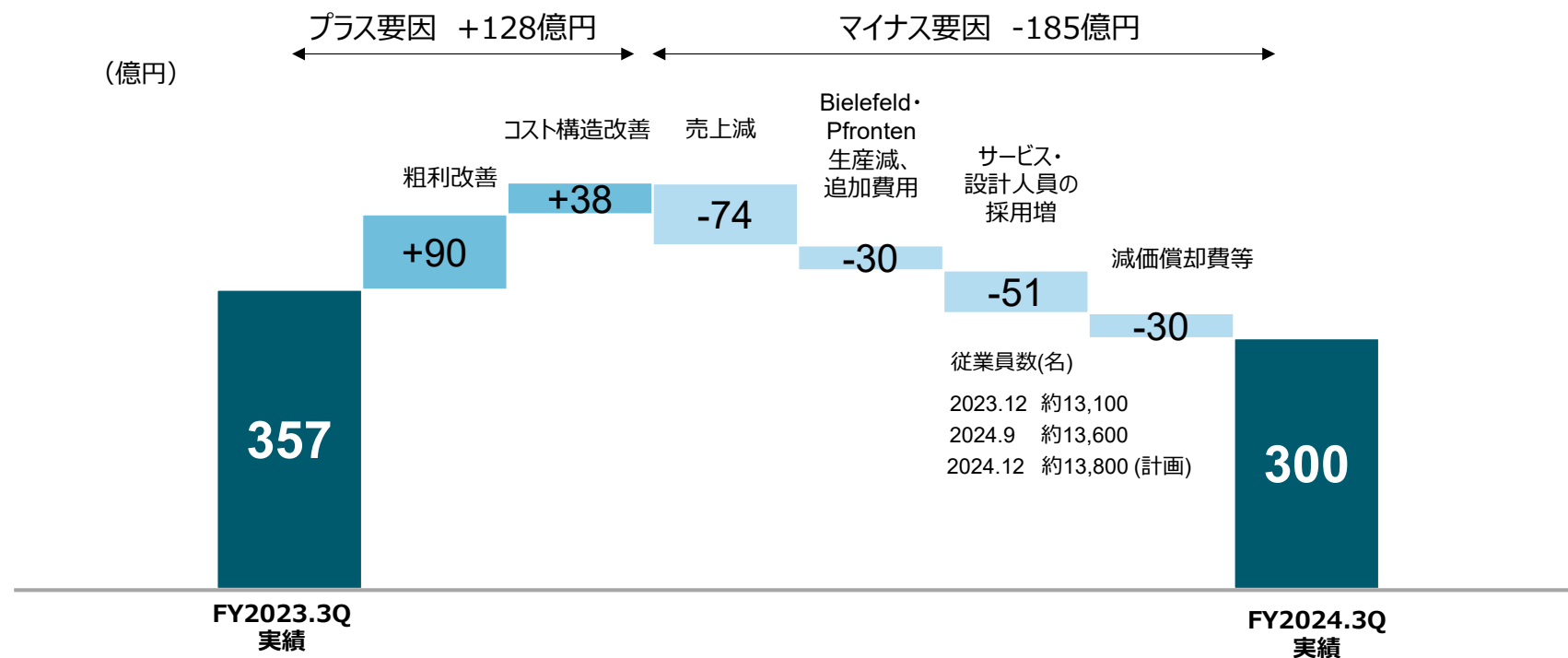
営業利益増減分析 2023年度第3四半期累計 vs. 2024年度第3四半期累計

DMG MORI

- ・ 工程集約・自動化などお客様価値提案による値引率低減による粗利改善、内製化拡大によるコスト構造改善による寄与継続
- ・ ドイツBielefeld工場、Pfronten工場のSAP S/4 HANA開始に伴う混乱から一時的な生産減・追加費用発生

(億円)	FY2023.3Q	FY2024.3Q	増減
売上収益	3,802	3,880	+78

		<u>FY2023.3Q</u>	<u>FY2024.3Q</u>
為替レート：	USD/円	138.1	151.3
	EUR/円	149.6	164.4

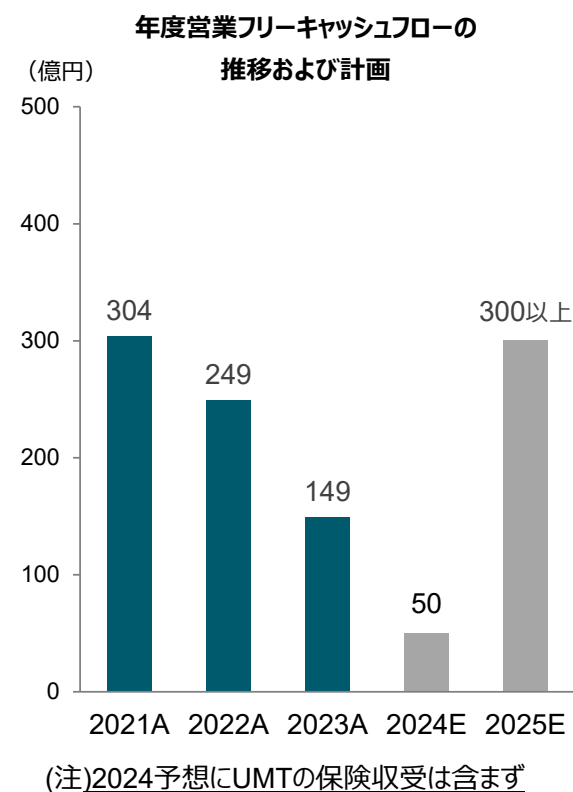


キャッシュ・フロー

DMG MORI

- ・ 第3四半期は黒字転化。在庫の削減により運転資本大幅改善
- ・ 年度は50億円の黒字見込み。自動化システム能力増強、IT投資など中長期での成長及び効率化のための投資拡大

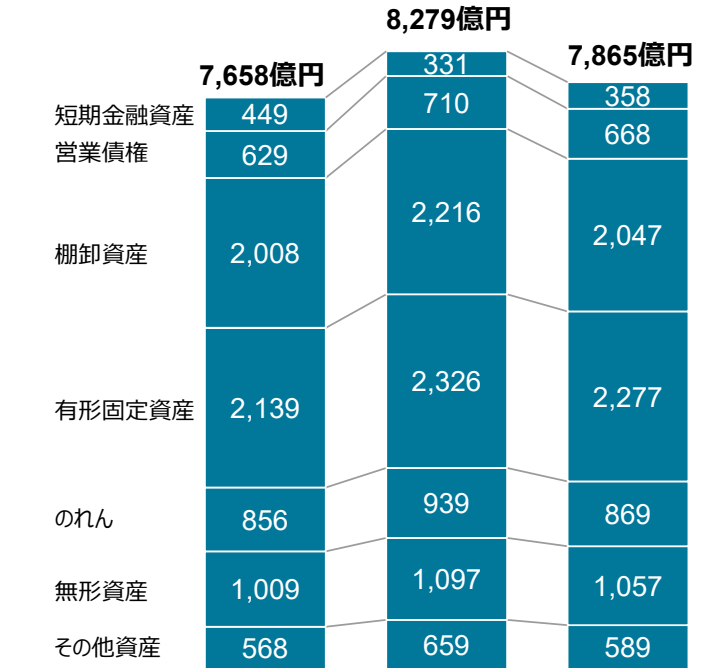
(億円)	2022					2023					2024				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q (計画)	FY (計画)
営業キャッシュフロー	125	236	101	235	697	93	51	58	315	516	95	-94	110	389	500
税引前四半期利益	89	74	80	122	365	85	12	17	165	479	93	113	47		
償却費	56	60	58	66	240	62	63	68	72	265	74	78	78		
運転資本増減	-18	99	-9	51	123	-17	-102	-71	99	-91	1	-138	14		
その他	-2	4	-29	-3	-31	-37	-23	-56	-21	-137	-73	-147	-29		
投資キャッシュフロー	-101	-115	-118	-115	-449	-111	-101	-96	-59	-367	-106	-64	-96	-184	-450
営業フリーキャッシュフロー	24	121	-17	121	249	-18	-50	-39	256	149	-11	-158	14	205	50



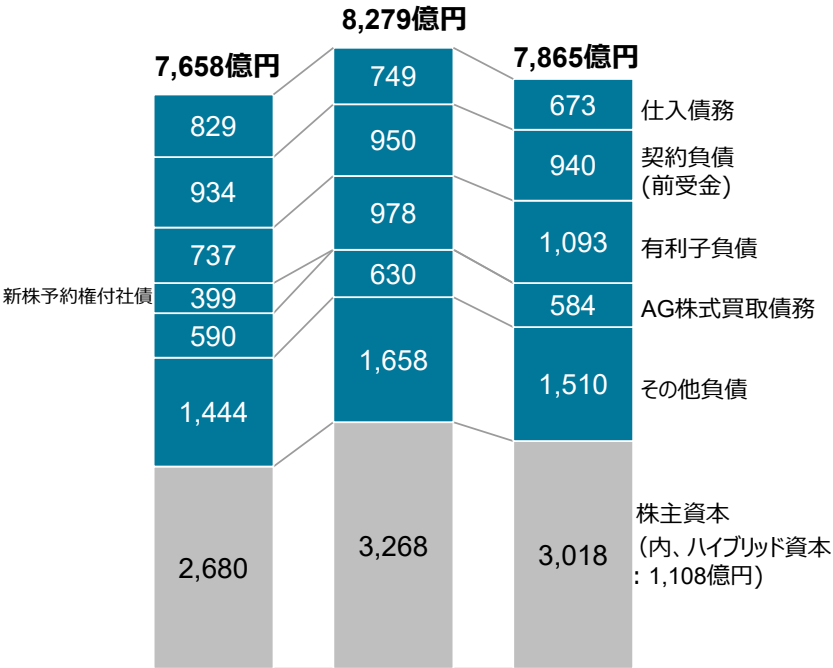
貸借対照表サマリー

- ・ 棚卸資産は減少に転じる（2024年6月末：2,216億円→2024年9月末：2,047億円）
- ・ 9月末のNet D/Eレシオは0.24と低位維持。12月に向けてさらに0.15へと低減見込み

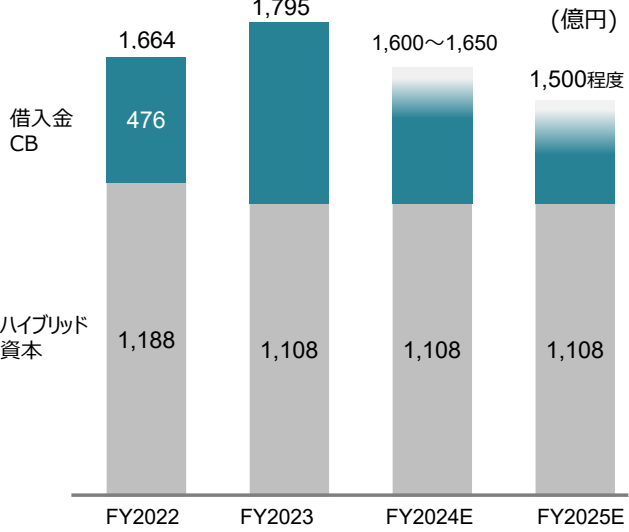
資産の部



負債・資本の部



純有利子負債削減計画



	2023年12月末	2024年6月末	2024年9月末		2023年12月末	2024年6月末	2024年9月末
期末日レート (EUR / JPY)	157.1	172.3	159.5	株主資本比率	35.0%	39.5%	38.4%
総資産に対する為替影響額 (億円)		約520	約75	純有利子負債	687億円	647億円	735億円
				Net D/Eレシオ	0.26	0.20	0.24

2024年度（1-12月） 通期業績見通し

DMG MORI

- ・ 年度受注を5,000億円(従来計画:5,300億円)へ修正。8月以降の受注の伸び悩みを反映
- ・ 営業利益を440億円(同:585億円)へ修正。欧州Bielefeld、Pfronten工場のSAP S/4HANA生産混乱及び追加費用、サービス人員・設計人員の採用増
- ・ 当期利益を100億円(同:360億円)へ修正。ロシア工場の保険金請求を継続中（EUR 90.4mil, 145億円）。今期の回収は織り込まない。
- ・ 年間配当金計画 100円/株を維持（中間配当 50円、期末配当 50円）

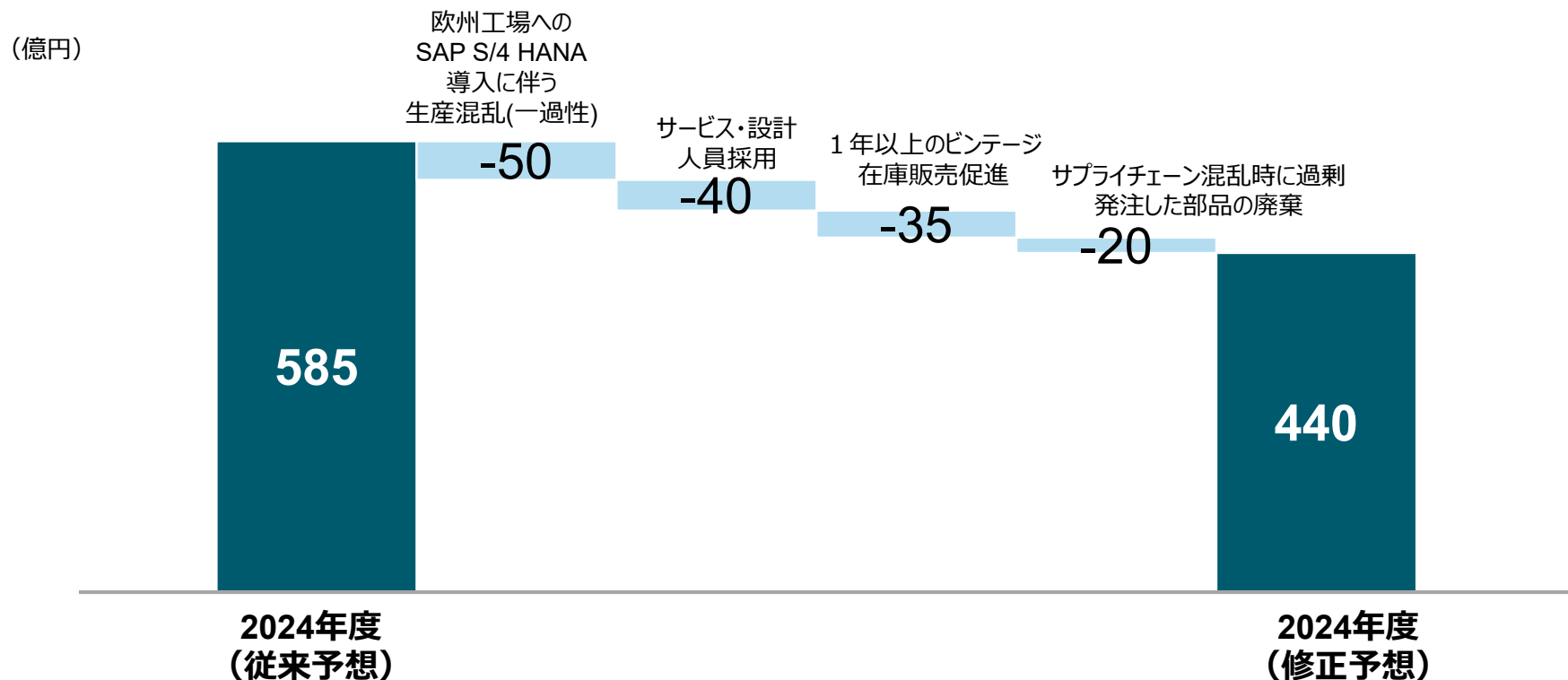
(億円)	2022年 (実績)	2023年 (実績)	2024年 通期計画		従来計画 (7月31日公表)	2025年 見通し	
			新	増減 (%)			増減 (%)
連結受注	5,424	5,200	5,000	-3.8%	5,300	5,400	+8%
連結受注残	2,540	2,470	—	—	—	—	—
売上収益	4,748	5,395	5,500	+2.0%	5,500	5,400	-2%
営業利益	412	554*	440	-20.5%	585	490	+11%
営業利益率	8.7%	10.3%	8.0%	—	10.6%	9.1%	—
継続事業からの当期利益	254	—	250	—	—	—	—
ロシア製造会社 連結除外損失（一過性）	—	—	-150	—	—	—	—
当期利益（親会社所有者帰属）	254	339	100	-70.5%	360	300	3倍
1株当たり当期利益（円）	188.62	256.66	58.76	—	242.61	211.33	—
1株当たり配当金（円）	70	90	100	—	100	100~105	—
償却費(リース含む)	240	265	310	—	300	340	—
設備投資額	411	425	450	—	300	300	—
USD/JPY	131.5	140.6	150	—	151	145	—
EUR/JPY	138.1	152.0	160	—	162	160	—

*UMTの連結除外に伴い、2023年度を同一基準により修正した結果、営業利益は554億円(従来公表値:542億円)、営業利益率は10.3%(同:10.0%)となりました。但し、当期利益への影響はありません。なお、2022年度の数値にはUMTの連結除外にかかる影響を考慮していません。

* 配当見込みは現時点での経営目標であり、取締役会および株主総会で承認されたものではありません。

営業利益減額要因 2024年度従来予想 VS 修正予想

DMG MORI

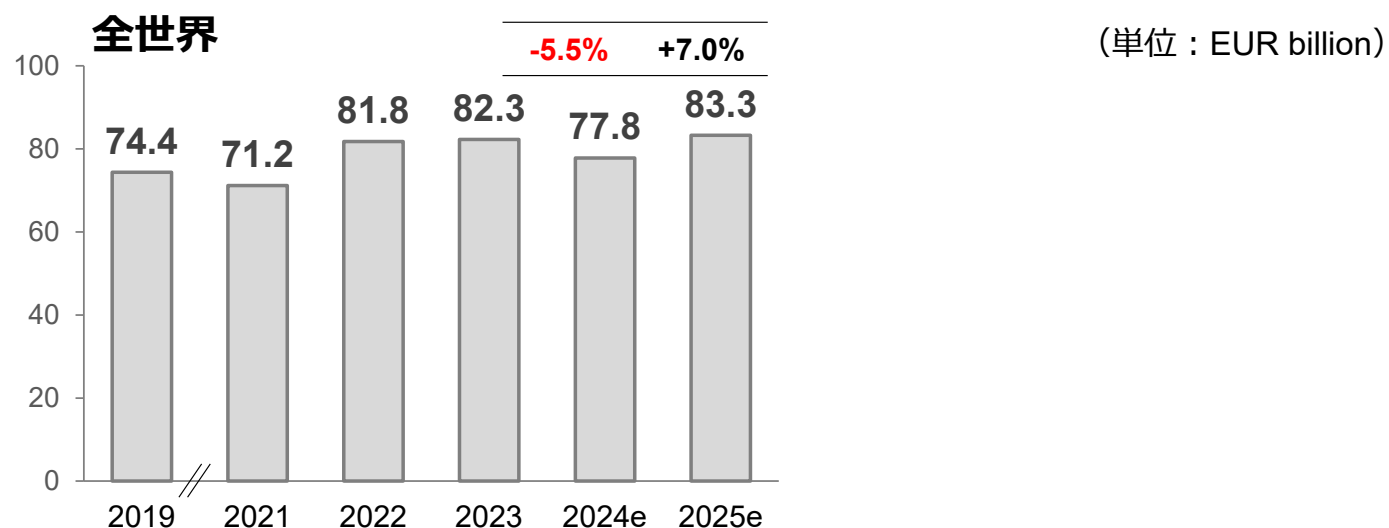


SAP S/4 HANA
導入

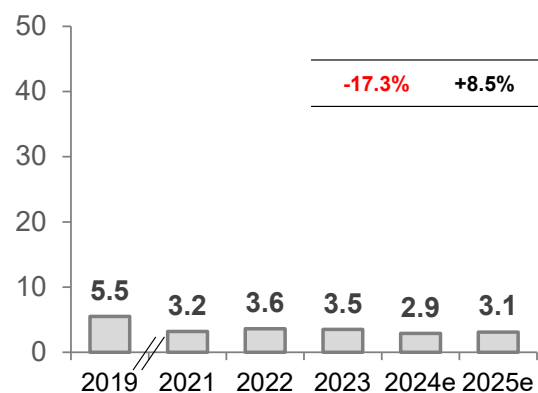
- Bielefeld工場：2022年1Q 導入開始 → 2024年1Q 完了
- Pfronten工場：2024年1Q 導入開始 → 2025年1Q 完了予定



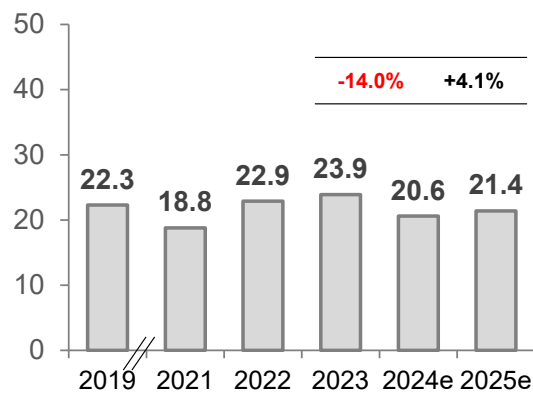
- 伊賀・奈良：2025年1Q 導入開始予定
既にBielefeld・Pfrontenで課題検証済み



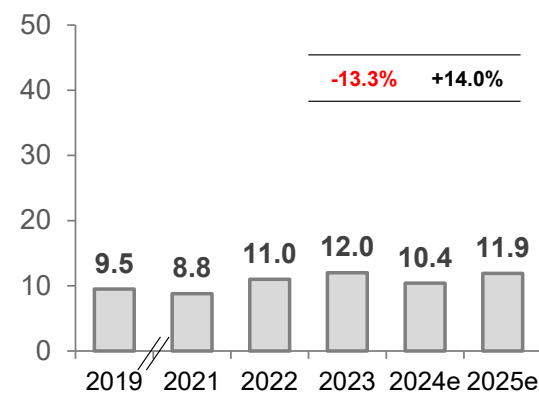
日本



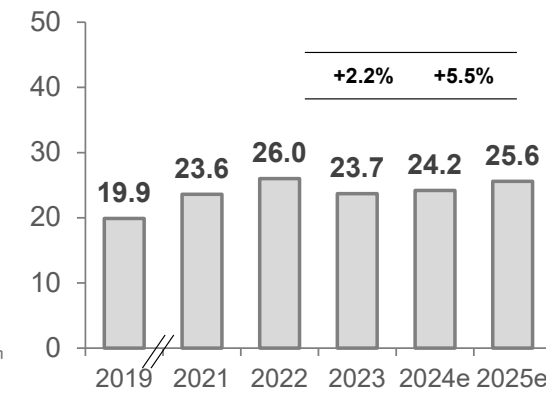
欧州



米国



中国

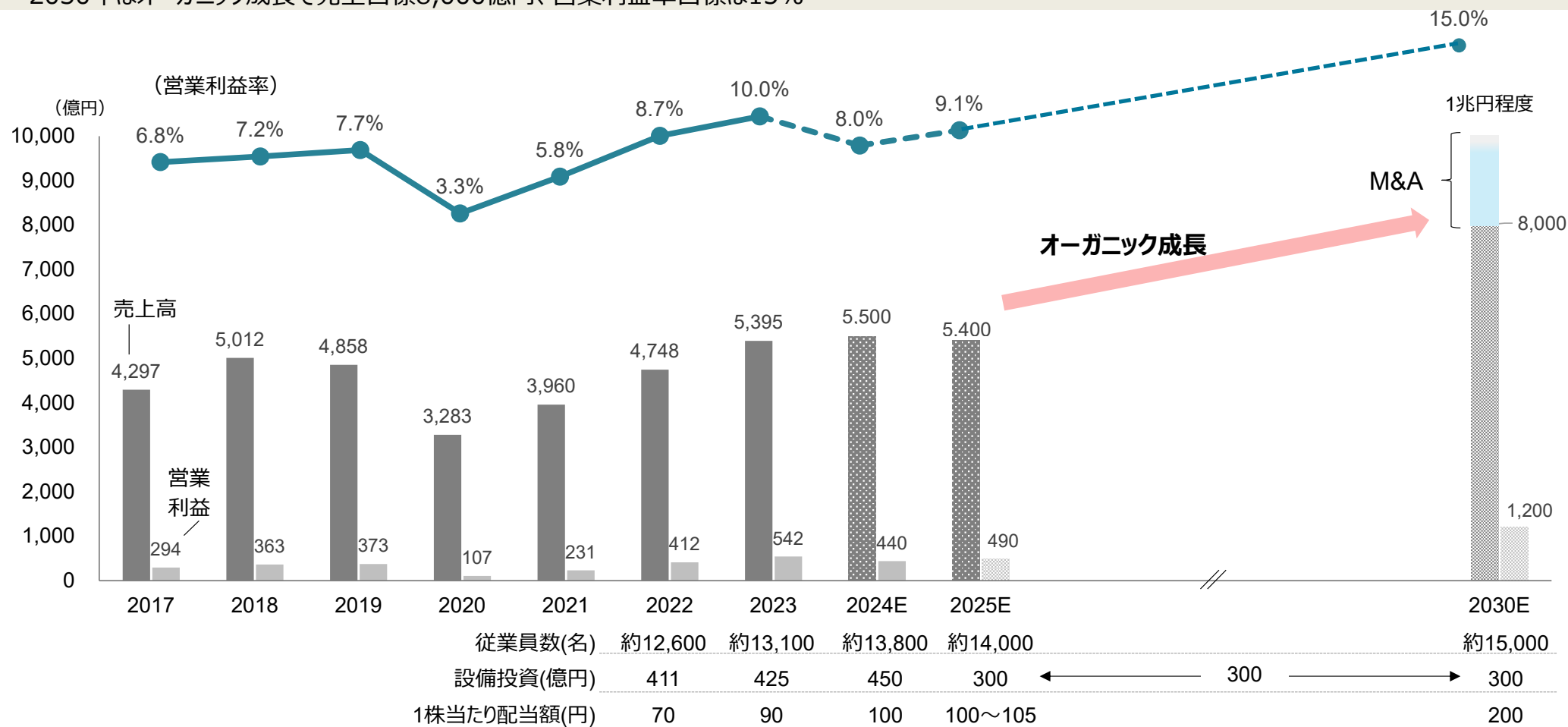


(出所) VDW (The German Machine Tool Builders' Association) & Oxford Economics Prognosis, October 2024

中長期業績計画

DMG MORI

- ・ 現「経営計画2025」の最終年度計画（売上6,000億円、営業利益720億円、営業利益率12%）を見直し
- ・ 2030年はオーガニック成長で売上目標8,000億円、営業利益率目標は15%



*配当見込みは現時点での経営目標であり、取締役会および株主総会で承認されたものではありません。

1.2024年度第3四半期(1-9月)決算概要

2.事業環境

3.MX推進：日本工作機械ショー（JIMTOF2024）

4.グローバルでグループ体制の強化

5. ESG/CSRの取組み

（オペレータの育成/ サプライヤーエンゲージメント）

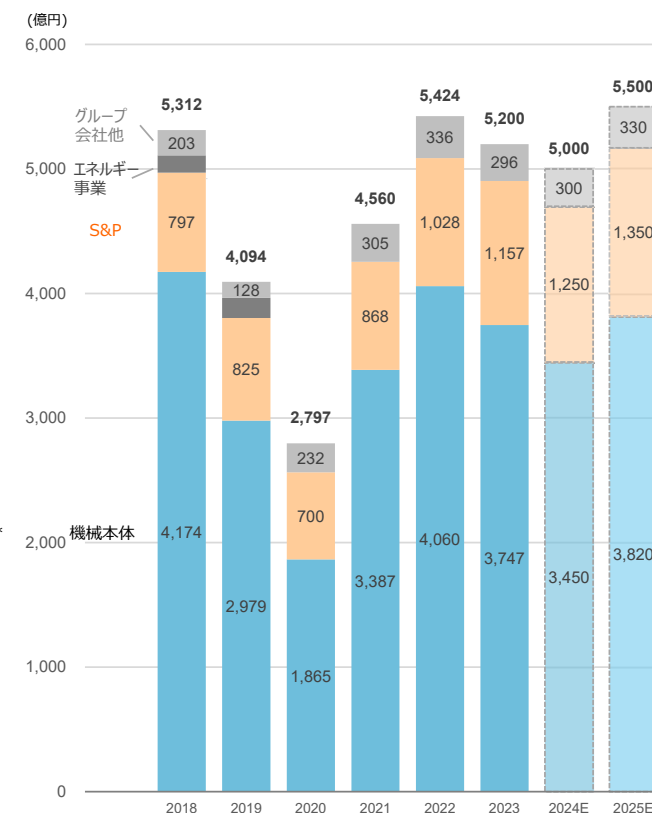
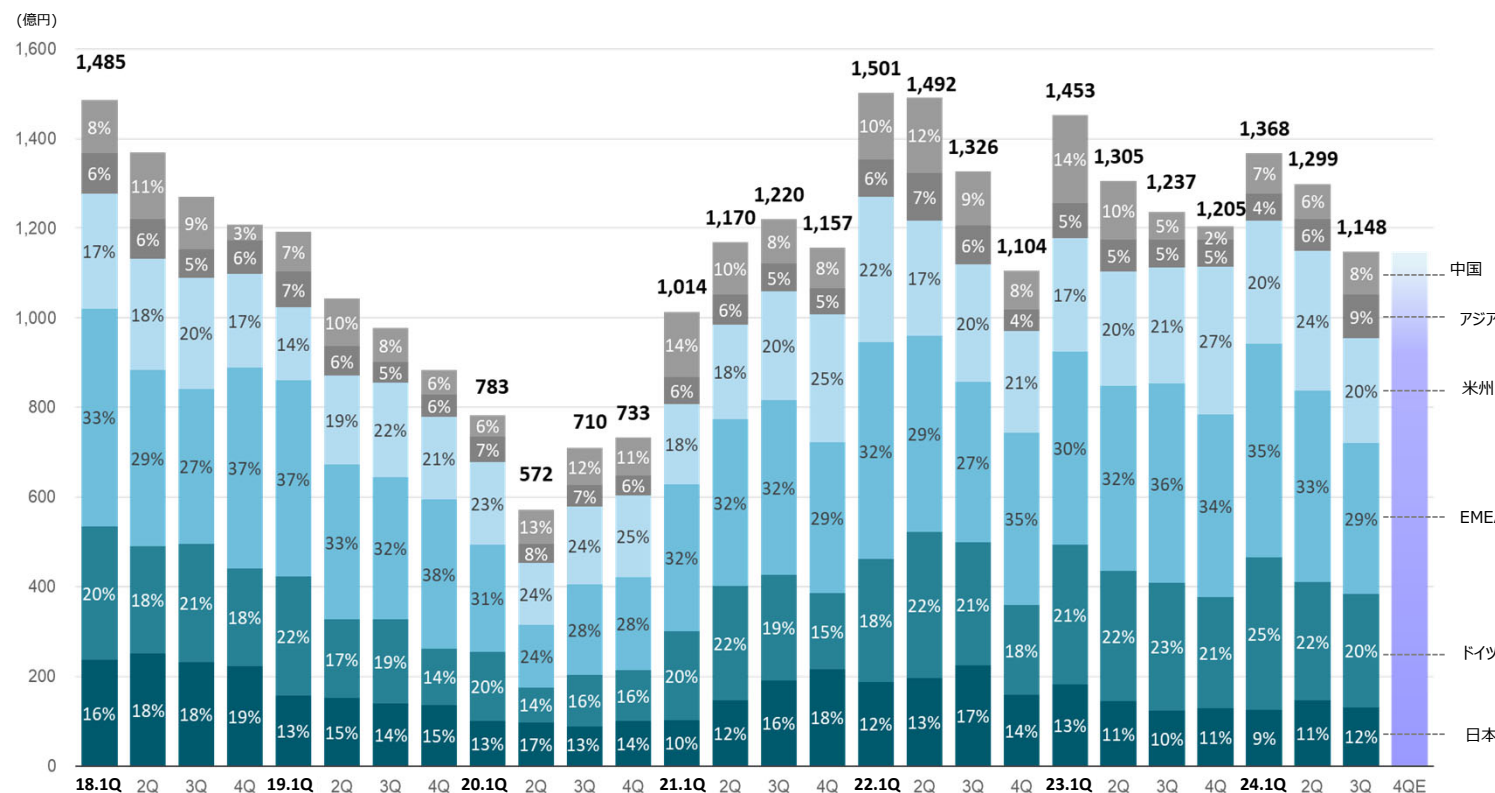
連結受注推移

DMG MORI

- ・ 月次受注は5月から前年同月比プラスに転じ7月まで増加基調を維持。8月、9月の受注は失速。引合いは高水準も、受注確定まで長期化
- ・ 年内の受注は現状横這い推移予想。2025年以降、受注回復を見込む

四半期

年度



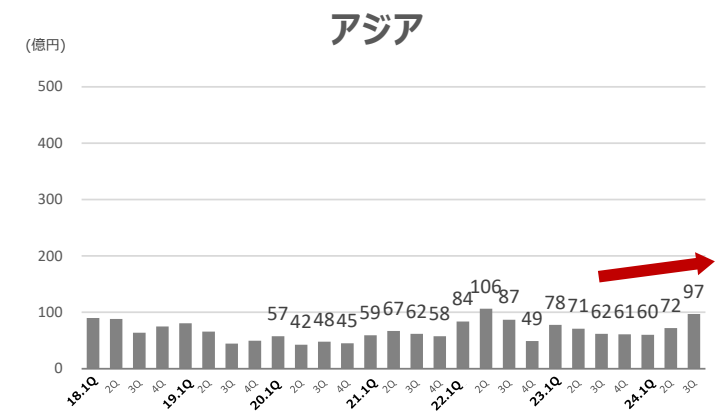
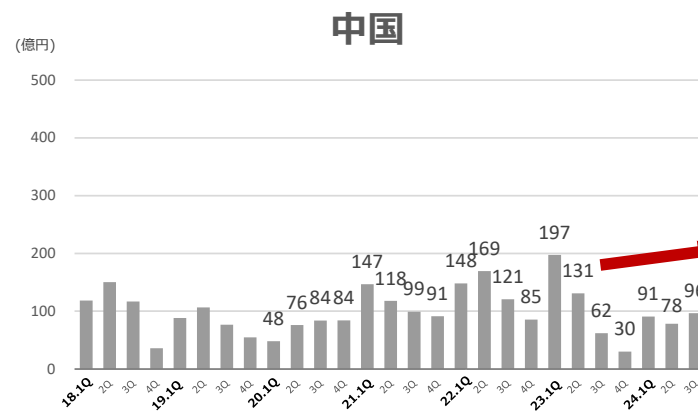
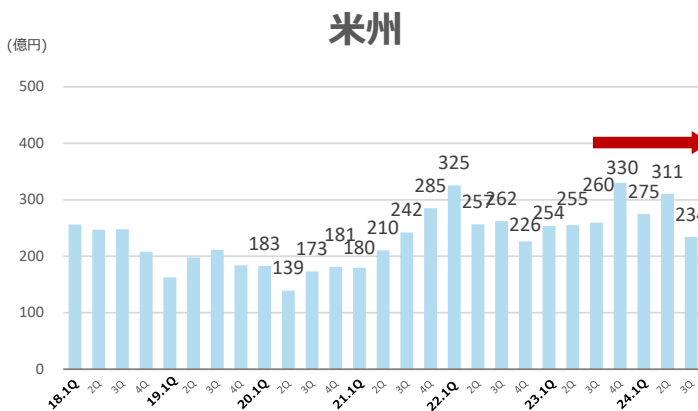
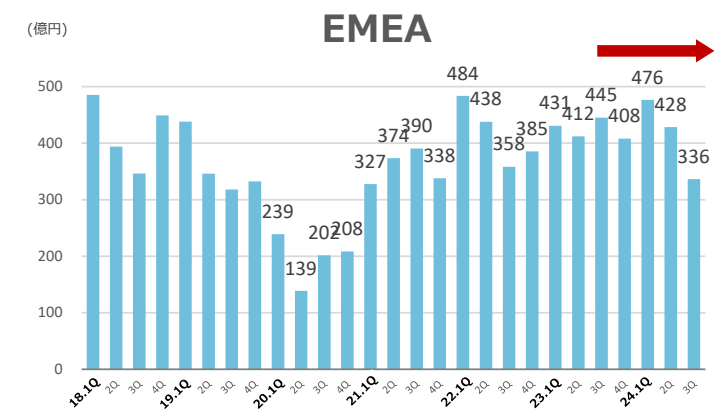
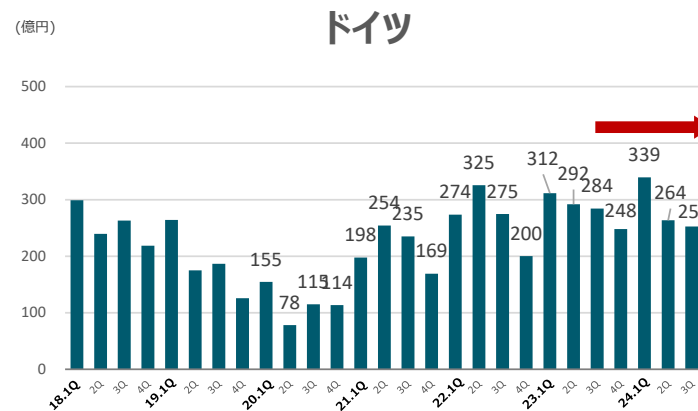
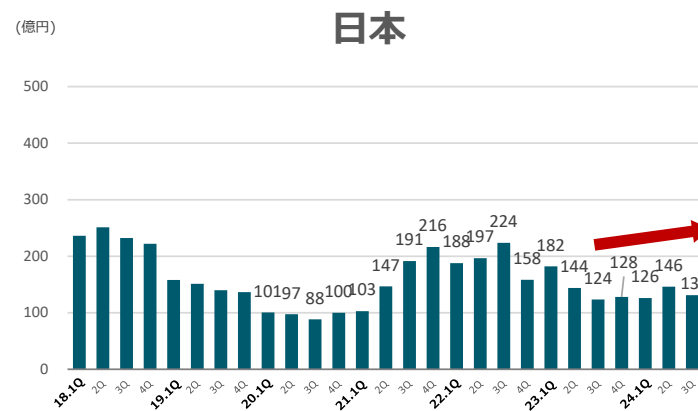
*Europe excl. Germany, the Middle East and Africa

地域別受注推移

DMG MORI

- 日本、中国、アジアの受注は堅調
- 欧州、米州の受注は一時的に調整局面入り。しかし、工程集約・自動化の引合い件数は高く、2025年からは受注回復を見込む

*Europe excl. Germany, the Middle East and Africa



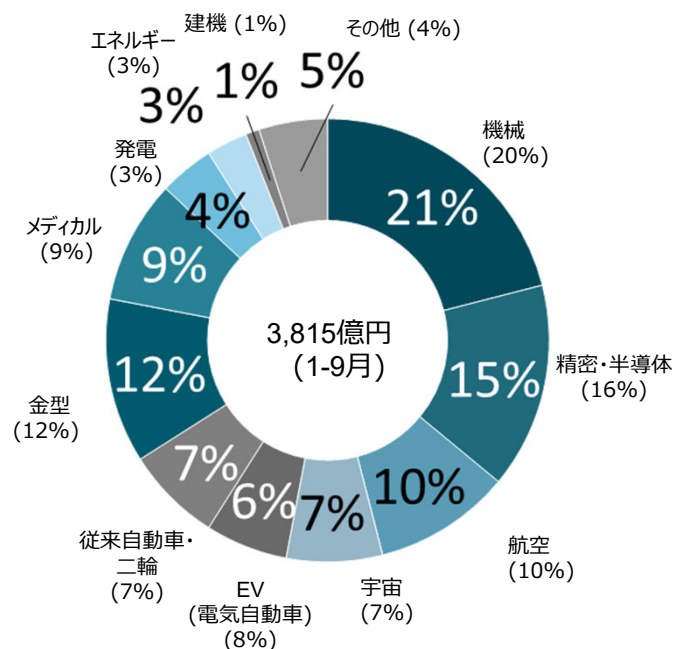
連結受注構成 (1-9月)

DMG MORI

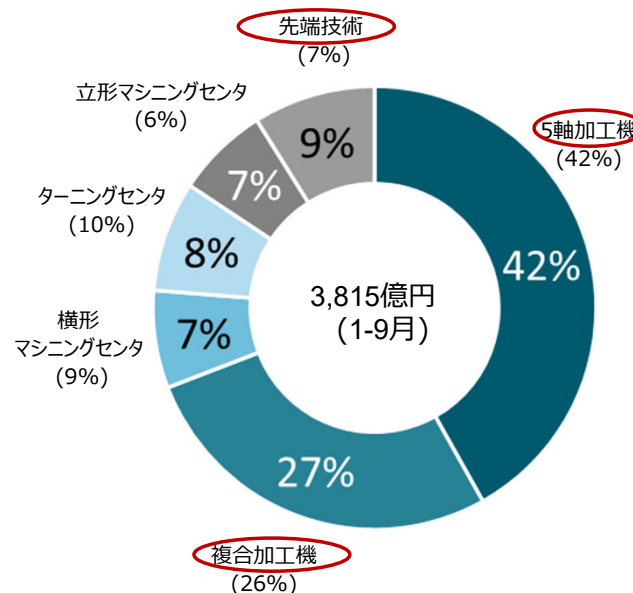
- ・ 航空・宇宙、メディカル、金型、発電関連向け受注は堅調
- ・ 5軸加工機、複合加工機、先端技術などの工程集約機の受注好調

※金額ベース
※カッコ内：2023年1-12月

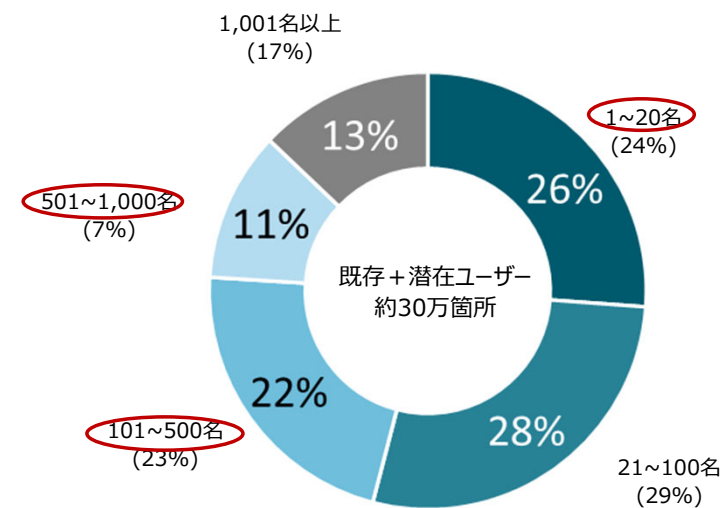
業種別



機種別



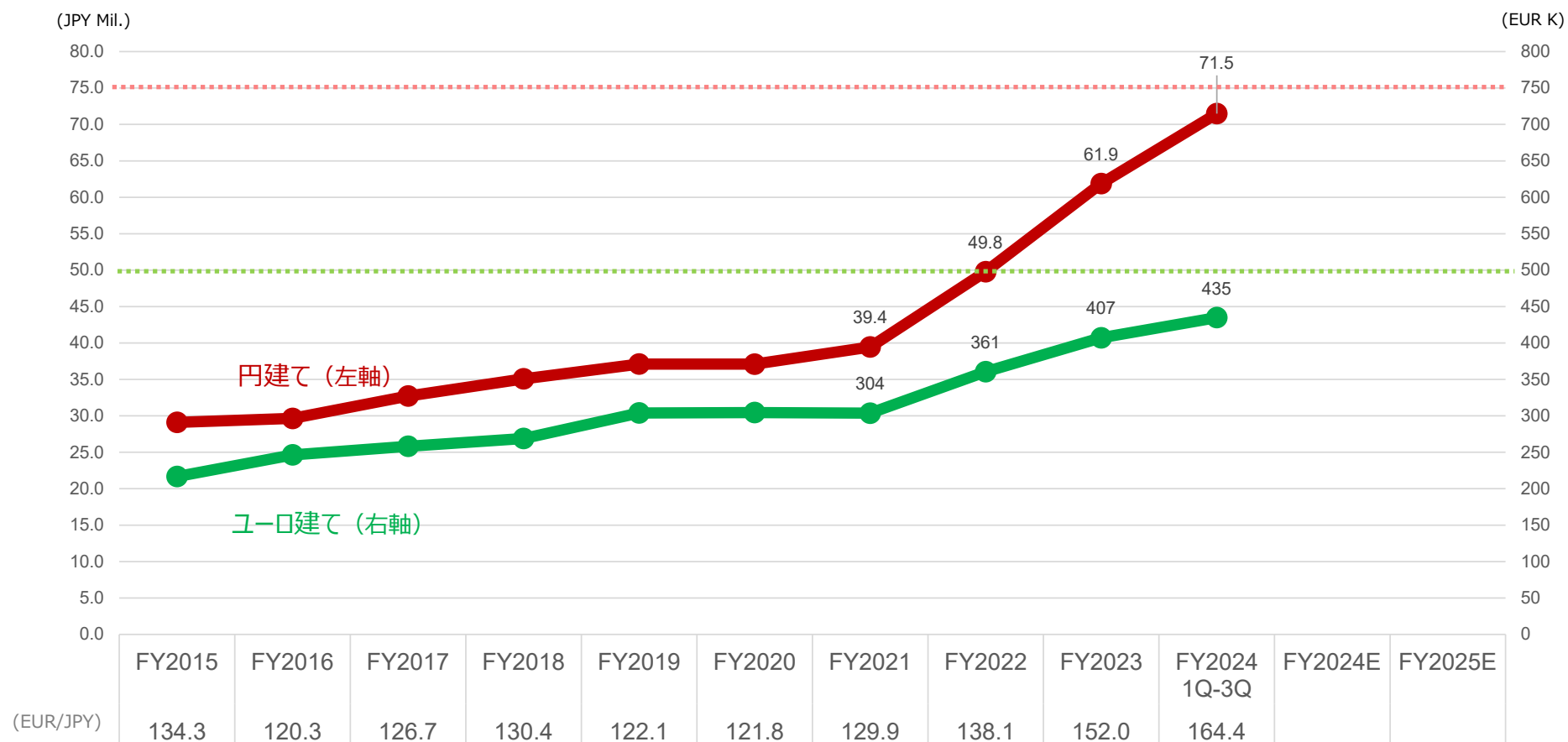
規模別



1台あたりの機械受注単価推移

DMG MORI

- ・ ユーロベースの機械受注単価は前年度比7%増の435千ユーロ
- ・ 5軸加工機、複合加工機、先端技術の3製品構成比は78%(前年度：75%)へ上昇し、受注単価を改善



1. 2024年度第3四半期(1-9月)決算概要

2. 事業環境

3. MX推進：日本工作機械ショー（JIMTOF2024）

4. グローバルでグループ体制の強化

5. ESG/CSRの取組み

（オペレータの育成/ サプライヤーエンゲージメント）

JIMTOF2024

12 machines, 8 automation in group booth

東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)【東8ホール】

- ✓ DMG MORI MX (工程集約 / 自動化 / GX / DX) を訴求
- ✓ DMG MORI グループ 一同展示
- ✓ DMQPパートナー エリア展示



東京GHQと東京ビッグサイトを結ぶ
シャトルバスを定期運行
(約15分)



東京テクノロジーウィーク

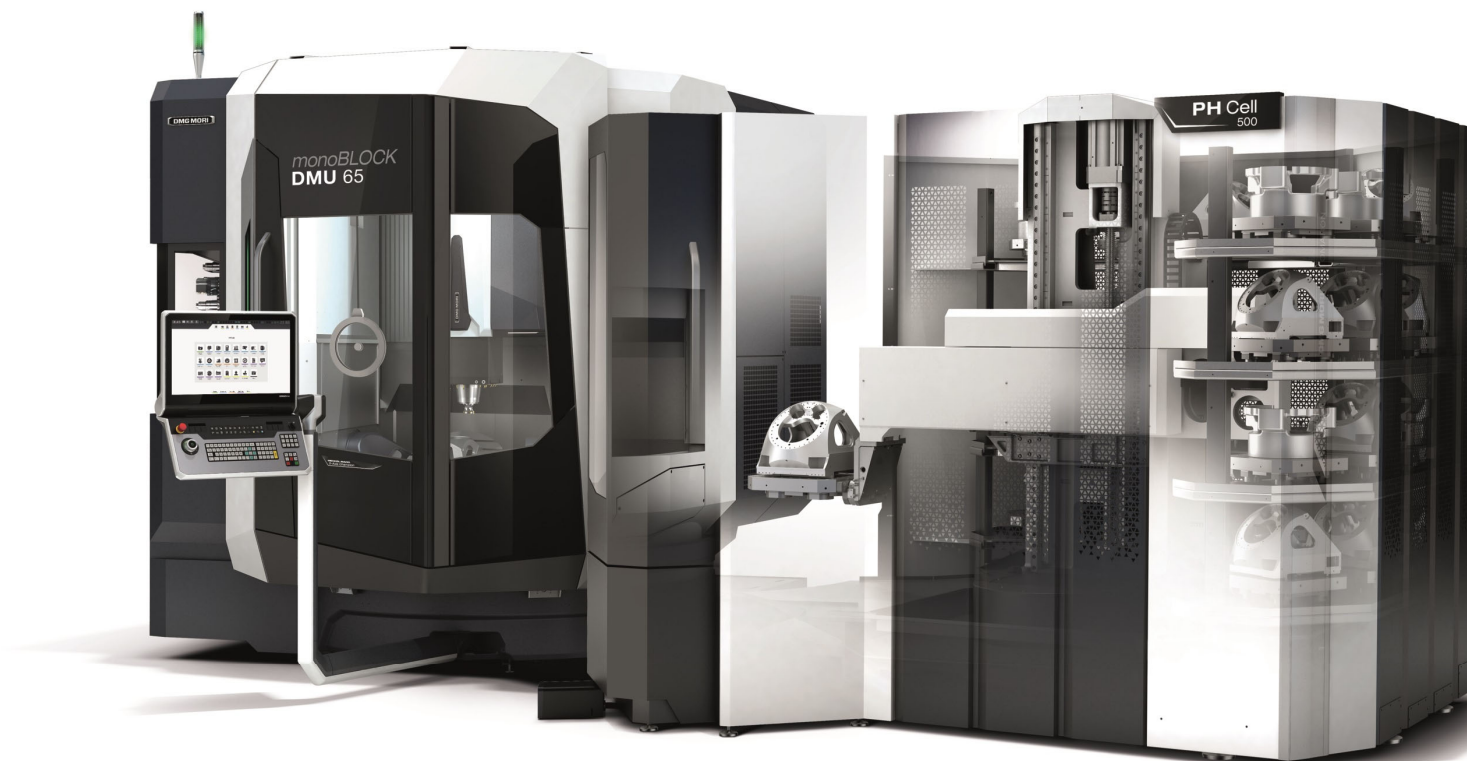
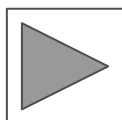
12 machines 4 automation

東京GHQ (東京都江東区潮見2丁目3-23)

- ✓ 来場登録制で、NLX 2500 2nd Gen.を含む
10種以上の実演加工をじっくり紹介



モジュール式パレットハンドリングシステム「PH Cell 500」



Japan
Premiere

DMU 65 monoBLOCK 2nd Generation

PH Cell 500

NLX 2500 | 700 2nd Gen. + MATRIS Light

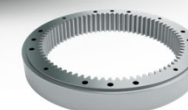


Japan
Premiere



NMV 5000 Gear Production+

World
Premiere



内歯スパー：
Φ460 mm×60 mm



外歯ヘリカル：
Φ380 mm×90mm



「DMG MORIによる新しい設備で、
生産性を2倍以上に向上」

Leopold Schmidt, SIEMENS Healthineers AG

案件概要

- 熟練作業者が不足する中でも複雑加工・多品種生産への対応を確実にするため、投資実行
- 4 x DMU 125 P duoBLOCK (123 tools each)
LPP 2000 with double fork and LPS4
CTS with 960 tools
- 3 clamping and set-up stations
with hydraulic workpiece clamping
- 加工品種数: 70 個
- 表面加工、測定を加工プロセスに一体化



1. 2024年度第3四半期(1-9月)決算概要

2. 事業環境

3. MX推進：日本工作機械ショー（JIMTOF 2024）

4. グローバルでグループ体制の強化

5. ESG/CSRの取組み

（オペレータの育成/ サプライヤーエンゲージメント）

太陽工機（保有比率50.81%）を100%グループ化

DMG MORI

DMG MORI × TAIYO KOKI

- 株式会社太陽工機（現保有比率50.81%）を、TOB（公開買付け）により100%グループ化（11月1日公表）
- 買付価格1,875円/株でTOB実施。TOBの下限：15.85%→現保有株と合せて**所有割合2/3超**
- 太陽工機は、11月1日の取締役会にて、本**TOBに賛同**を表明
- 総取得金額は、約54.5億円の見込み。

<想定シナジー>

- DMG MORIグループのグローバルな販売網を活用し、同社製品の海外販売の拡大
- 当社の開発リソース活用により、工程集約・自動化推進
- DMG MORI Precision Boring（長岡）との連携強化等による、長岡エリア事業の拡大

<スケジュール>

- 買付け等の期間：2024年11月5日～2024年12月16日（30営業日）
- 公開買付けの成立後に、100%グループ化手続きを実施することを予定。

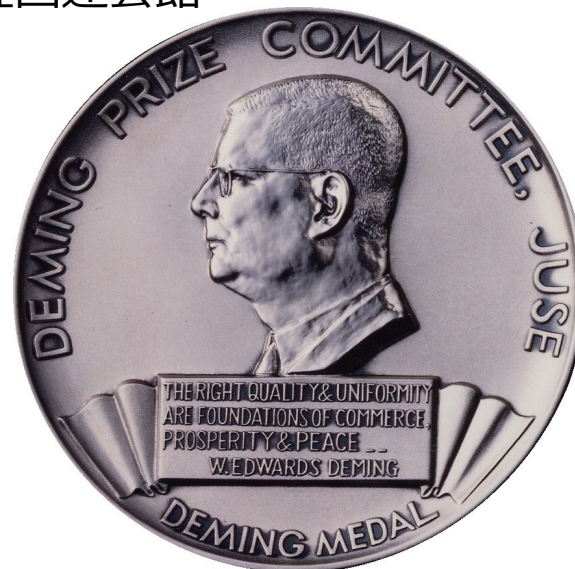


長岡新工場完成予想図

伊賀事業所、2024年度デミング賞を受賞

DMG MORI

授賞式：2024年11月13日(水) 経団連会館

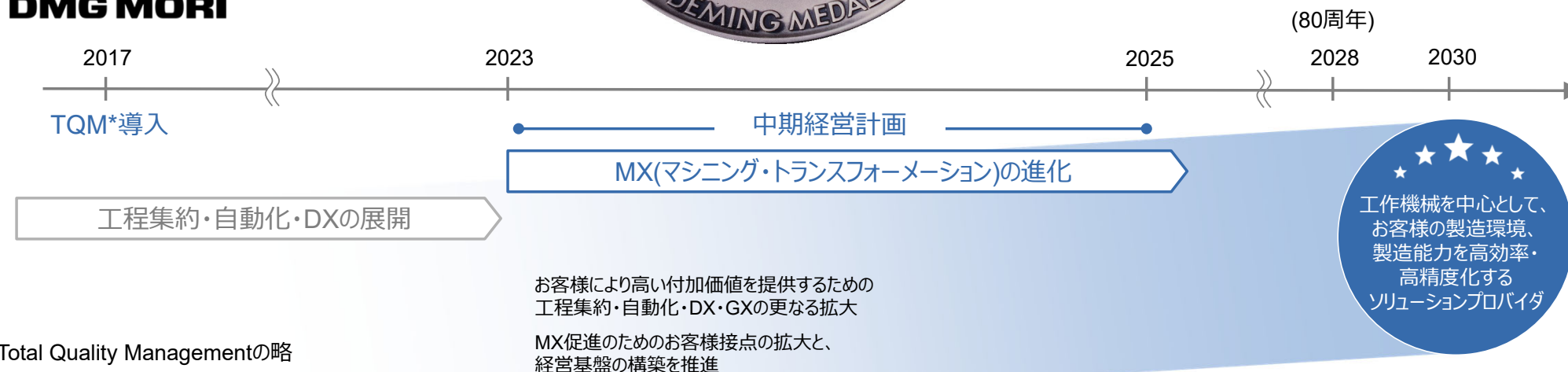


<デミング賞>

戦後の日本に統計的品質管理を普及させ、日本製品の品質を世界最高水準に押し上げた 故ウィリアム エドワーズ デミング博士の業績を記念して1951年に創設されたTQMに関する世界最高ランクの賞。

(日本科学技術連盟ホームページより)

DMG MORI



*Total Quality Managementの略

SPARE PARTS CENTER CHINA移転

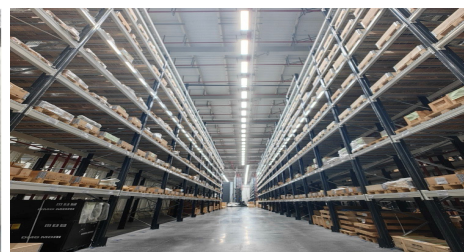
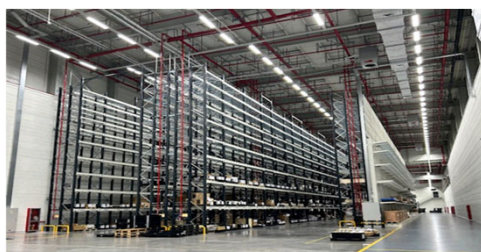
DMG MORI



- + 移転: **上海→平湖 (Pinghu)**
- + 上海浦東国際空港からの距離 **110km**
- + 稼働時期: **2024年10月1日**
- + 敷地面積: **1,850 sqm**
- + 保有パーツ点数 **>15,000点**
- + 在庫価値: **RMB 80.5 mn (JPY 1.6bn*)**

中国市場向けの全領域の部品展開
(カバー、機械、油圧、電子機器からネジまで)

*RMB/JPY =20.48で換算



ミュンヘン欧州本社 起工式

DMG MORI

- ✓ 2024年9月10日 ミュンヘン欧州本社の起工式を実施、2026年以降に開所予定
- ✓ 欧州各拠点へのアクセスや世界各地へのフライトでの利便性が良く、国際的な交流の場へ
- ✓ 約1,500㎡のショールームには、最新の製品・技術を設置。お客様との商談やトレーニング、ショールーム見学に活用



1.2024年度第3四半期(1-9月)決算概要

2.事業環境

3.MX推進：日本工作機械ショー（JIMTOF2024）

4.グローバルでグループ体制の強化

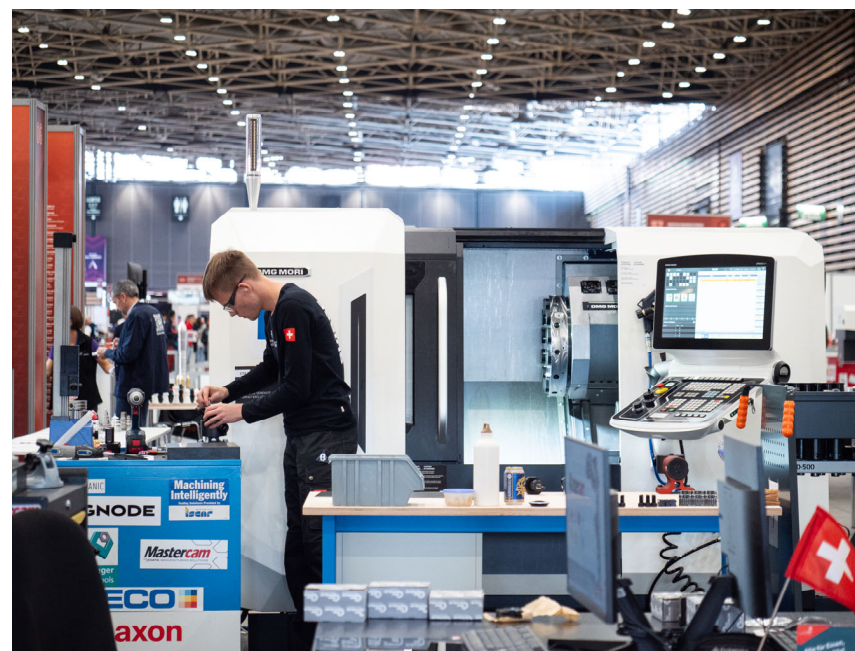
5. ESG/CSRの取組み

（オペレータの育成/ サプライヤーエンゲージメント）

技能五輪大会2024を支援

DMG MORI

- ✔ 世界中の約1,400人の若い技能者がリヨン（フランス）に集結
- ✔ 当社は、競技者のための訓練コースのほか、合計29台の機械を会場に提供
- ✔ 当社は2007年から技能五輪を継続支援



第19回切削加工ドリームコンテスト

DMG MORI



JIMTOF2024
DMG MORIブースで
応募全作品(93点)を
展示

産業部品加工部門		
金賞	薄膜成型金型（基板製品）	株式会社村田製作所 様
銀賞	共振ピン	石山ネジ株式会社 横浜工場 様
銅賞	長尺回転機構部ウエハー受け治具	古賀電機株式会社 様
技能賞	複数分析試料をワンタッチチャッキング（医療用遠心分離機）	株式会社吉岡精工 様
アカデミック部門		
金賞	削り出し反重力デバイス	兵庫県立神戸高等技術専門学院 様
銀賞	メタルペンシル ペンシルスタンド	慶應義塾大学 理工学部 技術支援課 マニファクチャリングセンター 様
銅賞	ロボプロジェクト自由曲面マイクロレンズアレイ	慶應義塾大学 様
技能賞	バイオメテックス低騒音ドローンプロペラ	岩手大学 高度試作加工センター 様
技能賞	0.2 mmの微細テンセグリティ	近畿大学工業高等専門学校 様

試作・テスト加工部門		
金賞	Swan（スワン）	株式会社積進 様
銀賞	Honeycomb	京セラ株式会社 様
銅賞	世界一軽いダンベル	株式会社坂田精密 様
銅賞	積層セラミックコンデンサ（サ）時計	株式会社村田製作所 様
技能賞	ツーボン〜内径入口φ38、掘込み深さ39（直径φ116）〜	大和田カーボン工業株式会社 様
技能賞	自立浮き	古賀電機株式会社 様

先端加工部門		
金賞	技術の灯	株式会社J・3D 様
銀賞	セラミック腕時計	福島セラミック株式会社 様
銅賞	正二十面体	株式会社村田製作所 様

芸術造形加工部門		
金賞	小さすぎる馬	アスカ工業株式会社 様
銀賞	網	株式会社誠武 様
銅賞	水鏡に落ちた水滴と波紋	サークルアンドスクエア株式会社 様
銅賞	縞島	株式会社三栄機械 様
技能賞	削る君へ	旭有機材株式会社 様
技能賞	montagna sacra マンタグナ サクラ（霊峰）	株式会社フラスコ 様

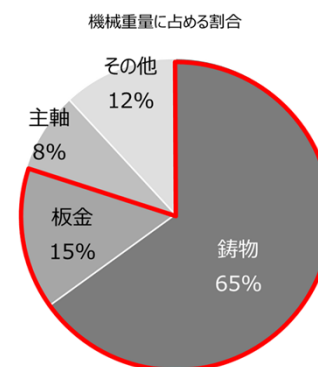
気候変動対応：サプライヤーエンゲージメント

DMG MORI

- ✓ 鋳物、板金の主要サプライヤCO₂排出量の算定と排出量削減に向けてワークショップを開催
- ✓ サプライヤと共通の排出量算定ツール（ツール名Cozero）を導入
- ✓ 排出量を算定・見える化し、削減に向けた施策を作成・実行し、協働してスコープ3排出量削減に取り組む



2024年10月17日（木）



➡ 主要15社が参加

各社、5%/年の削減（2030年30%削減）

2024年

2025年の取り組み

① 排出量算定と
評価
（'24年12月）

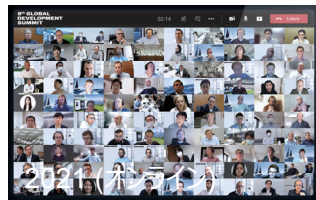
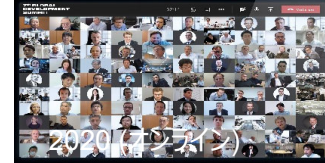
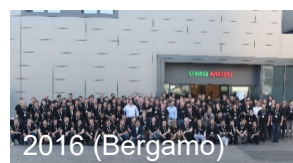
➡ ② 削減施策と
3か年計画の策定
（3月まで）

➡ ③ 実施した施策
の効果確認
（12月）

毎年PDCAを回して排出量削減目標を達成

第11回 Global Development Summit開催

DMG MORI



当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。

これらの将来に関する記述は、

当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。

今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 当グループが営業活動を行っている市場内における需要環境の変化
- 為替相場の変動
- 当グループが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当グループが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法や輸出管理規制等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更
- COVID－19に関する日本国及び諸外国の渡航又は自宅待機規制の動向